

2014年3月期 決算説明会

京成電鉄株式会社
東証第一部 コード:9009



SKYLINER
LIMITED EXPRESS

目次

1 経営概況、当社の取り組み

2 2014年3月期 連結決算

3 2015年3月期 連結業績予想

4 連結業績の推移

5 参考資料

2014年3月期 連結決算



- 営業収益2,450億円
- 営業利益242億円、経常利益370億円、当期純利益270億円、それぞれ過去最高益を更新
- 有利子負債は3,692億円、EBITDA倍率8.0倍

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2014年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
営業収益	2,450億円	2,441億円	9億円	0.4%	2,456億円	△6億円	△0.2%
営業利益 (営業利益率)	242億円 (9.9%)	230億円 (9.4%)	12億円	5.5%	233億円 (9.5%)	9億円	4.1%
経常利益	370億円	306億円	64億円	20.8%	345億円	25億円	7.2%
当期純利益	270億円	220億円	50億円	23.1%	256億円	14億円	5.7%
有利子負債 残高 (EBITDA倍率)	3,692億円 (8.0倍)	3,935億円 (8.8倍)	△243億円	△6.2%	3,738億円 (8.3倍)	△46億円	△1.2%

※有利子負債残高にはリース債務を含む

※EBITDA倍率=有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

1

運輸業(1) 鉄道輸送人員・旅客運輸収入



- 成田空港におけるLCC国内線の利用者増や、沿線における大学の開校や商業施設の開業などにより、定期・定期外は共に好調に推移

当社鉄道輸送人員

(単位:千人)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2014年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
輸送人員	266,953	261,200	5,753	2.2%	263,782	3,171	1.2%
定期	156,123	152,047	4,076	2.7%	153,909	2,214	1.4%
定期外	110,830	109,153	1,677	1.5%	109,873	957	0.9%

※輸送人員は千人未満を四捨五入して表示しております

旅客運輸収入

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2014年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
旅客運輸収入	56,411	54,811	1,600	2.9%	55,665	745	1.3%
定期	19,716	19,317	399	2.1%	19,483	233	1.2%
定期外	36,694	35,493	1,200	3.4%	36,182	512	1.4%

※旅客運輸収入は百万円未満を切り捨てて表示しております

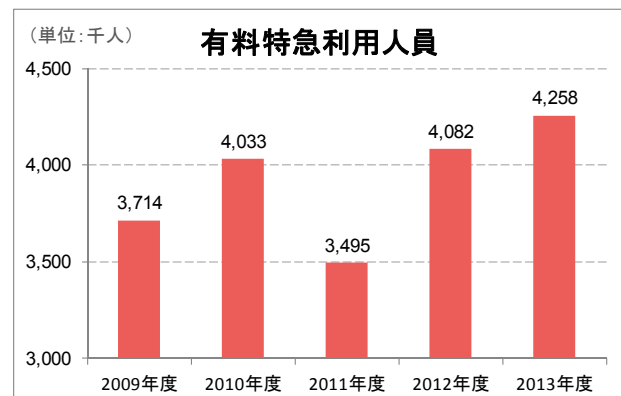
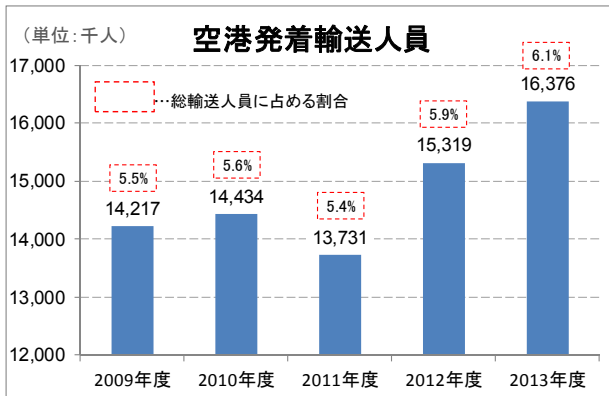
2

運輸業(2) 成田空港発着鉄道輸送人員

- LCC国内線の利用者増により好調に推移
- 有料特急のうち、スカイライナー輸送人員は28か月連続で対前年同月比増
- 総輸送人員に占める空港発着輸送人員の割合は6.1% (前期比+0.2pt)

(単位:千人)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2014年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
空港発着 輸送人員	16,376	15,319	1,057	6.9%	16,118	258	1.6%
内 有料特急 利用人員	4,258	4,082	176	4.3%	4,141	117	2.8%



※輸送人員、利用人員は千人未満を四捨五入して表示しております

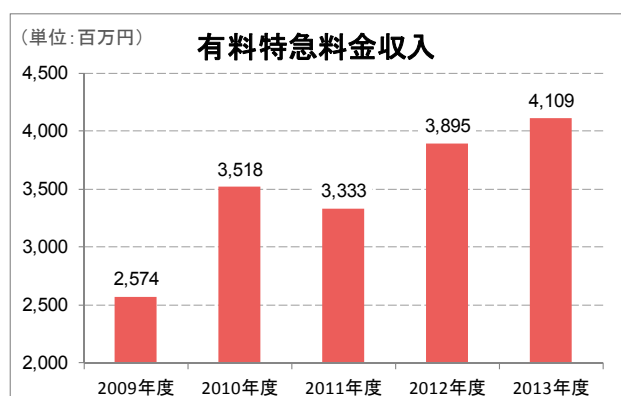
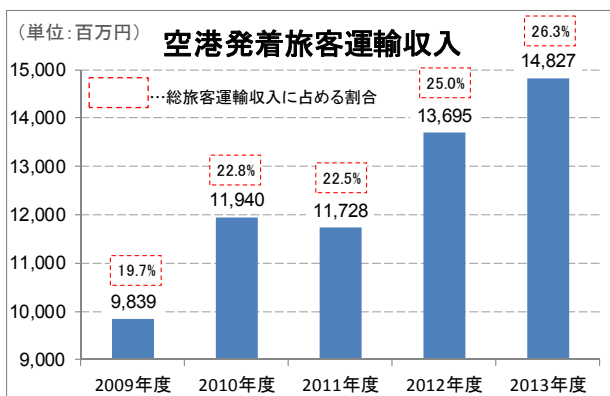
3

運輸業(3) 成田空港発着旅客運輸収入

- 有料特急のうち、スカイライナーの輸送人員増により空港発着旅客運輸収入は好調に推移
- 総旅客運輸収入に占める空港発着旅客運輸収入の割合は26.3% (前年同期比+1.3pt)

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2014年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
空港発着 旅客運輸収入	14,827	13,695	1,131	8.3%	14,452	375	2.6%
内 有料特急 料金収入	4,109	3,895	213	5.5%	3,967	142	3.6%



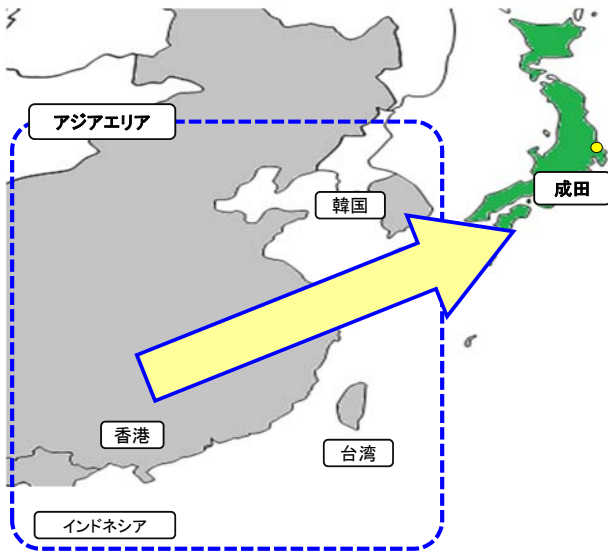
※旅客運輸収入、料金収入は百万円未満を切り捨てて表示しております

4

運輸業(4) 成田空港輸送の収益力強化(鉄道事業)①



インバウンド営業の強化



NARITA AIRPORT ↔ UENO 41 min

Quickly access downtown Tokyo in comfort from Narita Airport aboard the Keisei Skyliner

Offers the quickest travel time to downtown Tokyo

One of Japan's fastest high-speed trains at 160 km/h (Excluding the bullet train)

Reserved seating means you are guaranteed a seat

Each car has its own dedicated luggage space



- 「KEISEI SKYLINER & METRO PASS」を発売開始(2013年9月 韓国、2013年12月 台湾・香港)
- スカイライナークーポンの海外販売拡充(2013年4月 香港、同年8月 インドネシア)
※韓国・台湾は2012年度以前から販売
- 外国語版ホームページ上で訪日外国人向けに「Skyliner e-ticket」を開始(2014年3月)
- 四か国語に対応した成田空港アクセス関連ホームページを展開

5

運輸業(5) 成田空港輸送の収益力強化(鉄道事業)②



LCC国内線利用旅客への営業強化

- 「KEISEI SKYLINER & METRO PASS」をPeach機内で発売開始(2013年10月)
- ダイヤー部変更により、成田空港から都心に向かう最終スカイライナーの時刻繰り下げ(2013年10月)
- 「スカイライナーバリューチケット」をバニラエア機内で発売開始(2013年12月)
- LCC各社との共同販促キャンペーン実施

スカイライナーの利便性向上

- 乗換検索サイト(4社)の経路検索結果からダイレクトにスカイライナーチケットを購入できるサービスを開始(2013年9月)



販促キャンペーンの実施

- ユナイテッド航空の成田～デンバー線の就航を記念し、NAAを含む3社でキャンペーンを実施(2013年6月)



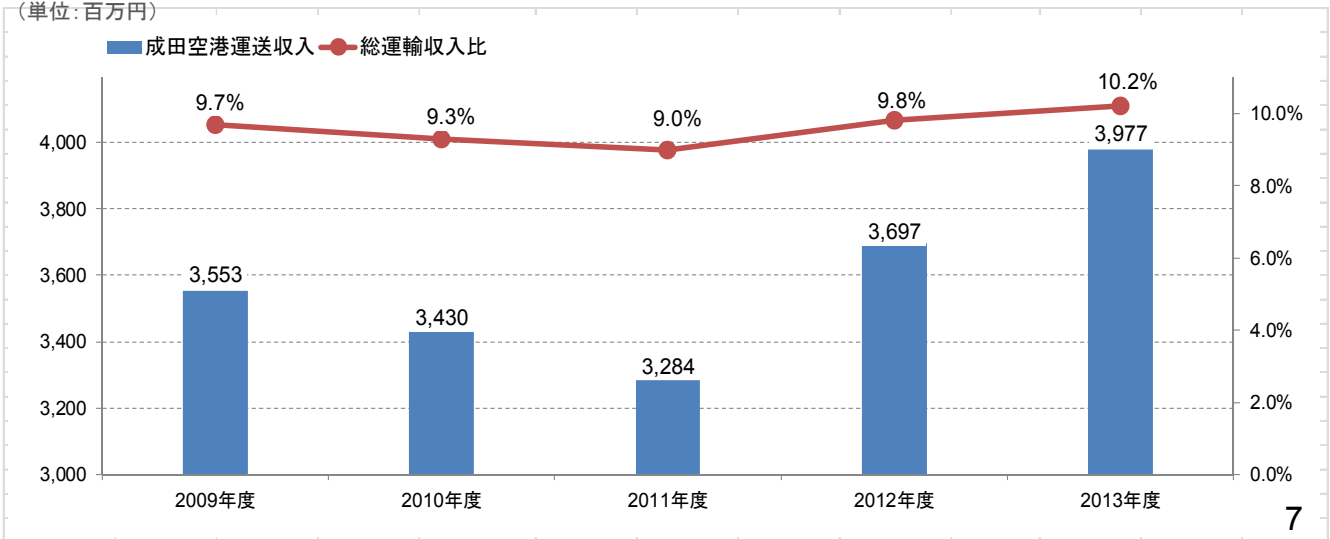
6

運輸業(6) 成田空港発着バス運送収入

- LCC国内線利用者の増加などにより、空港発着運送収入は好調に推移
 - 東京シャトルは、開業以来のお客様が累計100万人達成(2014年3月)
- 2013年度通期の総運送収入全体に占める空港発着バス運送収入の割合は 10.2%(前期比+0.4pt)



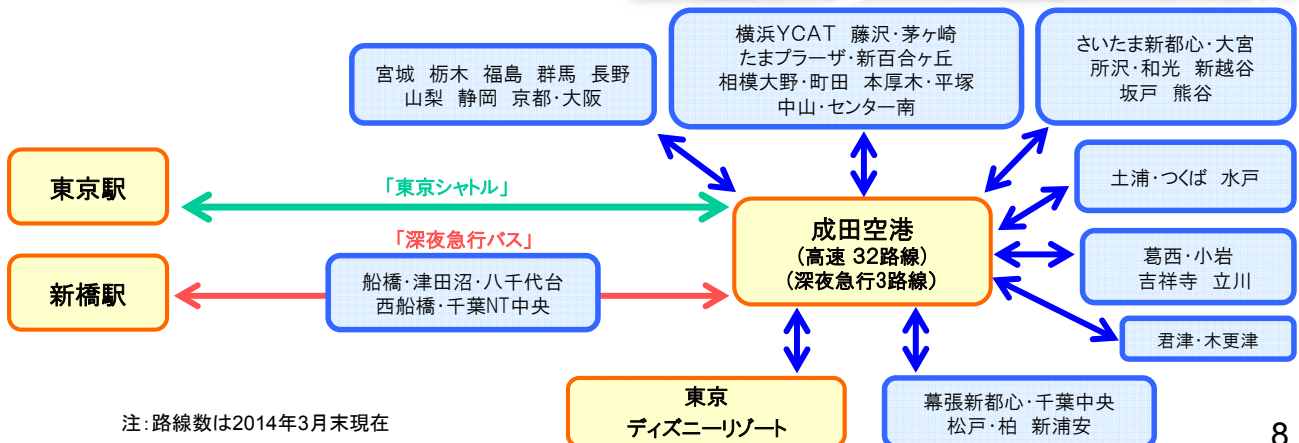
(単位:百万円)



運輸業(7) 成田空港輸送の収益力強化(バス事業)

空港バス輸送の営業力強化

- 「東京シャトル&メトロパス」発売開始(2013年4月)
- 東京シャトルのダイヤ改正を実施(2013年9月)
 - 1日65便から80便に増便
 - 大江戸温泉物語経由便を新設
 - 同施設とのセットプランを発売開始
- 深夜急行バス路線の延伸や、高速バス路線の増便により、LCCの早朝便への対応を強化



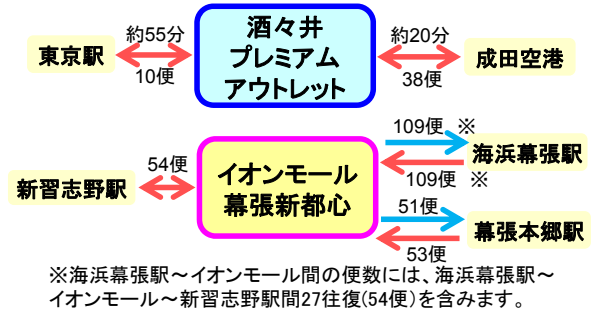
注: 路線数は2014年3月末現在

運輸業(8) 京成エリアの収益力強化①



商業施設開業への対応

- 酒々井プレミアム・アウトレット(2013年4月)、イオンモール幕張新都心(2013年12月)開業に合わせ、バス路線の新設やルート変更を実施
- イオンモール幕張新都心関連バス路線でダイヤ改正を実施し、夕方～夜時間帯の運行本数を増便(2014年1月)



観光需要への対応

- 定額タクシーの拡充(2014年4月)
 - 一 東京都内(一部地域を除く)と、成田空港・TDRを定額で輸送するサービスを開始



- 酒蔵めぐり観光タクシーの運行開始(2013年10月)
 - 一 成田空港から、成田周辺の酒蔵に立ち寄りながら観光スポットを巡るルート等を設定
 - 一 英語対応のドライバーが乗務



運輸業(9) 京成エリアの収益力強化②



京成ブランドの強化

- 東葛・京葉・千葉エリアで営業する9社508両の行燈マークと車体社名標記を統一(2014年3月)
 - 一 屋根上の行燈マークを「京成」に統一
 - 一 車体に「京成グループ」を標記



- 京成グループタクシー無線センターを開設
 - ①東葛・②京葉・③千葉・④北総エリア
 - ※④北総エリアは2014年6月開設予定
 - 一 無線配車業務を統合効率化
 - 一 GPS配車により、お客様に迅速な配車サービスを提供

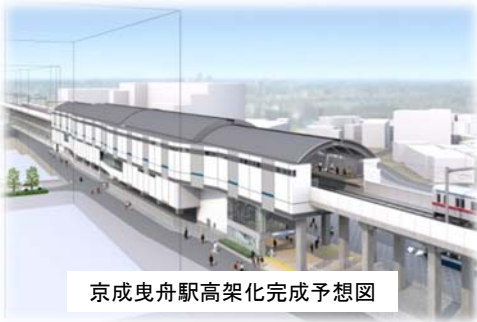


配車サービスの向上、業務の効率化

- スマートフォン無料アプリ「ココきて・TAXI」による配車サービスを開始(2013年6月)
 - 一 都内のグループ947両(提携会社含む)に加え、千葉県内のグループ会社601両の配車が可能



墨田区内連続立体交差化推進

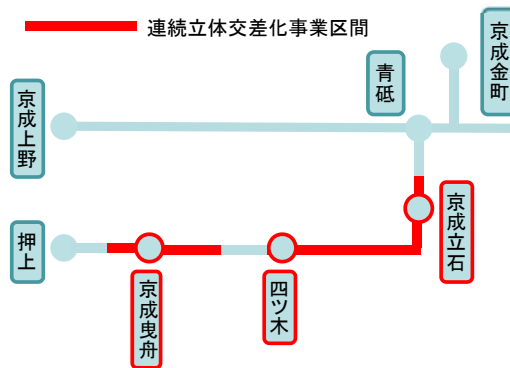


京成曳舟駅高架化完成予想図



高架化した京成曳舟駅上り線

- 連続立体交差化工事を推進中
(2013年8月 上り線高架化完了)
- 事業区間内8箇所踏切を廃止
- 高架下スペースの有効活用を検討



葛飾区内連続立体交差化推進

- 用地買収並びに調査を実施中
- 事業区間内11箇所踏切を廃止

不動産業(1) 京成エリアの開発①

- グループ会社資産の有効活用により、賃貸資産の拡充を図ると共に、マンション開発により、沿線を活性化

押上駅

旧本社跡地活用

規模: 地上13階地下1階
延床面積: 約27,000㎡
用途: 商業施設(地下1階~地上2階)
駐車場(地上3~4階)
宿泊施設(地上5階~13階)
開業時期: 2015年12月予定

千住大橋駅

サングランデ 千住大橋

戸数: 43戸
引渡時期: 2014年3月

関屋駅

サングランデ 千住曙町

戸数: 44戸
引渡時期: 2014年3月

船橋競馬場駅

京成バス船橋営業所 (花輪車庫) 跡地活用

【分譲マンション】
敷地面積: 約9,000㎡
総戸数: 246戸
引渡時期:
第1期 2015年3月予定
第2期 2015年9月予定

【賃貸施設】
敷地面積: 約12,000㎡
延床面積: 約23,000㎡
用途: 商業施設
開業時期: 2015年3月
予定

京成バス船橋営業所(花輪車庫)跡地活用

- 商業・住居一体型複合施設(総開発面積約21,000㎡)の開発を推進
 - ー分譲マンション第1期販売分完売(2014年3月)
 - ー賃貸商業施設(コーナン)の工事に着手(2014年3月)



サングランデ船橋宮本

敷地面積: 約9,000㎡
 総戸数: 246戸
 引渡時期: 第1期 2015年3月予定
 第2期 2015年9月予定



賃貸商業施設(コーナン)

敷地面積: 約12,000㎡
 延床面積: 約23,000㎡
 用途: 商業施設
 開業時期: 2015年3月予定

その他 多様化したお客様ニーズへの対応

駅売店のコンビニエンスストア化

- 当社線の駅構内売店(全22店舗)のコンビニエンスストア化を推進
 - ー京成八幡駅構内店(2013年12月オープン)
 - ー日暮里駅ホーム店、お花茶屋店、青砥店、船橋駅上り・下り店、八千代台店、勝田台店、うすい店(2014年3月オープン)



成田空港内レストランの改装

- 和食レストラン「京成友膳」をリニューアル(2014年4月)
 - ーインバウンドの取り込みを強化



婚活ツアーの開催

- 京成トラベルは、京成グループバスや諸施設を利用した街コンバスツアーを開催



目 次

1 経営概況、当社の取り組み

2 2014年3月期 連結決算

3 2015年3月期 連結業績予想

4 連結業績の推移

5 参考資料

2. 2014年3月期 連結決算(1)

■ 年度の業績(前期比較)

(単位:百万円、%)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減	増減率
営業収益	244,995	244,059	936	0.4
営業利益	24,244	22,984	1,260	5.5
(営業利益率)	9.9	9.4	—	—
経常利益	36,980	30,602	6,377	20.8
うち持分法投資利益	16,051	11,564	4,487	38.8
当期純利益	27,048	21,973	5,075	23.1
EBITDA倍率	8.0倍	8.8倍	—	—

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)
 なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

2. 2014年3月期 連結決算(2)

■ 年度の業績(前回予想比較)

(単位:百万円、%)

	2014年3月期 実績	2014年3月期 前回予想	増減	増減率
営業収益	244,995	245,600	△ 604	△ 0.2
営業利益	24,244	23,300	944	4.1
(営業利益率)	9.9	9.5	—	—
経常利益	36,980	34,500	2,480	7.2
うち持分法投資利益	16,051	15,000	1,051	7.0
当期純利益	27,048	25,600	1,448	5.7
EBITDA倍率	8.0倍	8.3倍	—	—

※前回予想は2013年10月31日付第2四半期決算短信発表値です。

2. 2014年3月期 連結決算(3)

■ 営業収益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 前回予想	増減
運輸業	135,062	131,886	3,175	133,700	1,362
流通業	72,167	73,374	△ 1,206	72,500	△ 332
不動産業	21,010	22,486	△ 1,475	21,500	△ 489
レジャー・サービス業	10,320	10,381	△ 60	10,400	△ 79
建設業	21,801	20,170	1,630	21,300	501
その他の事業	4,927	5,294	△ 367	5,000	△ 72
計	265,290	263,593	1,697	264,400	890
消去又は全社	△ 20,295	△ 19,534	△ 761	△ 18,800	△ 1,495
連結	244,995	244,059	936	245,600	△ 604

前期比

運輸業

建設業

鉄道事業及びバス事業の増(次頁参照)
土木工事の増

前回予想比

運輸業

建設業

鉄道事業及びバス事業の増(次頁参照)
土木工事の増

17

2. 2014年3月期 連結決算(4)

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 前回予想	増減
鉄道事業	72,587	70,543	2,043	71,600	987
バス事業	41,068	39,967	1,101	40,600	468
タクシー事業	21,406	21,374	31	21,500	△ 93
運輸業計	135,062	131,886	3,175	133,700	1,362
ストア業	38,296	39,264	△ 968	38,200	96
百貨店業	27,188	27,438	△ 250	27,600	△ 411
その他	6,683	6,671	12	6,700	△ 16
流通業計	72,167	73,374	△ 1,206	72,500	△ 332
不動産販売業	9,116	10,925	△ 1,809	9,500	△ 383
不動産賃貸業	8,778	8,693	85	8,800	△ 21
不動産管理業	3,116	2,867	248	3,200	△ 83
不動産業計	21,010	22,486	△ 1,475	21,500	△ 489

前期比

鉄道事業

バス事業

不動産販売業

空港輸送の増、消費税増税前の先買い
空港輸送の増、大型商業施設開業
販売戸数の減

前回予想比

鉄道事業

バス事業

百貨店業

消費税増税前の先買い、空港輸送の増
大型商業施設開業
衣料品の不振

18

2. 2014年3月期 連結決算(5)

営業利益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 前回予想	増減
運輸業	17,308	16,780	528	16,600	708
流通業	967	1,109	△ 141	1,000	△ 32
不動産業	4,630	3,814	816	4,400	230
レジャー・サービス業	135	272	△ 136	200	△ 64
建設業	721	527	193	600	121
その他の事業	284	313	△ 29	200	84
計	24,047	22,817	1,230	23,000	1,047
消去又は全社	197	167	30	300	△ 102
連結	24,244	22,984	1,260	23,300	944

前期比

運輸業

不動産業

鉄道事業の増(次頁参照)

不動産販売業の増(次頁参照)

前回予想比

運輸業

鉄道事業及びバス事業の増(次頁参照)

19

2. 2014年3月期 連結決算(6)

営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 前回予想	増減
鉄道事業	13,465	12,723	742	12,800	665
バス事業	3,247	3,129	117	3,000	247
タクシー事業	595	927	△ 331	800	△ 204
運輸業計	17,308	16,780	528	16,600	708
ストア業	477	349	127	500	△ 22
百貨店業	104	302	△ 197	200	△ 95
その他	385	457	△ 71	300	85
流通業計	967	1,109	△ 141	1,000	△ 32
不動産販売業	493	△ 201	694	400	93
不動産賃貸業	3,963	3,902	61	3,900	63
不動産管理業	173	113	59	100	73
不動産業計	4,630	3,814	816	4,400	230

前期比

鉄道事業

タクシー事業

不動産販売業

増収の影響

人件費等の費用増

前期 分譲土地建物評価損

前回予想比

鉄道事業

バス事業

タクシー事業

増収の影響

増収の影響

減収の影響、人件費等の費用増

20

2. 2014年3月期 連結決算(7)

■ 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	46,921	36,599	10,321
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 19,401	△ 14,276	△ 5,125
フリー キャッシュ・フロー	27,520	22,323	5,196
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 29,300	△ 19,966	△ 9,334
当期キャッシュ・フロー	△ 1,780	2,357	△ 4,138

21

2. 2014年3月期 連結決算(8)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2014年3月期	2013年3月期	増減	増減率	差異内訳
流動資産	89,361	87,986	1,375	1.6	
固定資産	669,883	653,863	16,020	2.5	投資有価証券の増
資産合計	759,388	741,982	17,406	2.3	
流動負債	191,969	181,862	10,106	5.6	
固定負債	325,939	345,411	△ 19,472	△ 5.6	
負債合計	517,908	527,274	△ 9,365	△ 1.8	借入金の減
自己資本	236,163	210,869	25,293	12.0	利益剰余金の増
純資産合計	241,480	214,708	26,772	12.5	
負債純資産合計	759,388	741,982	17,406	2.3	
自己資本比率	31.1	28.4	—	—	

22

1	経営概況、当社の取り組み
2	2014年3月期 連結決算
3	2015年3月期 連結業績予想
4	連結業績の推移
5	参考資料

3. 2015年3月期 連結業績予想(1)

■ 次期の業績予想(当期比較)

(単位:百万円、%)

	2015年3月期	2014年3月期	増減	増減率
	予想	実績		
営業収益	247,900	244,995	2,904	1.2
営業利益	22,700	24,244	△ 1,544	△ 6.4
(営業利益率)	9.2	9.9	—	—
経常利益	32,100	36,980	△ 4,880	△ 13.2
うち持分法投資利益	12,500	16,051	△ 3,551	△ 22.1
当期純利益	21,800	27,048	△ 5,248	△ 19.4
EBITDA倍率	7.8倍	8.0倍	—	—

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)
 なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

3. 2015年3月期 連結業績予想(2)

■ 営業収益(セグメント別)

(単位: 百万円、%)

	2015年3月期	2014年3月期	増減	増減率	差異内訳
	予想	実績			
運輸業	134,100	135,062	△ 962	△ 0.7	鉄道事業の減
流通業	71,800	72,167	△ 367	△ 0.5	ストア業の減
不動産業	21,300	21,010	289	1.4	
レジャー・サービス業	10,500	10,320	179	1.7	
建設業	23,300	21,801	1,498	6.9	民間工事の増
その他の事業	4,800	4,927	△ 127	△ 2.6	
計	265,800	265,290	509	0.2	
消去又は全社	△ 17,900	△ 20,295	2,395	—	
連結	247,900	244,995	2,904	1.2	

24

3. 2015年3月期 連結業績予想(3)

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位: 百万円、%)

	2015年3月期	2014年3月期	増減	増減率	差異内訳
	予想	実績			
鉄道事業	71,400	72,587	△ 1,187	△ 1.6	空港輸送の減
バス事業	41,000	41,068	△ 68	△ 0.2	
タクシー事業	21,700	21,406	293	1.4	稼働率の増
運輸業計	134,100	135,062	△ 962	△ 0.7	
ストア業	37,900	38,296	△ 396	△ 1.0	店舗閉鎖による減
百貨店業	27,200	27,188	11	0.0	
その他	6,700	6,683	16	0.2	
流通業計	71,800	72,167	△ 367	△ 0.5	
不動産販売業	9,400	9,116	283	3.1	販売戸数の増
不動産賃貸業	9,000	8,778	221	2.5	新規物件の稼働による増
不動産管理業	2,900	3,116	△ 216	△ 6.9	修繕工事の減
不動産業計	21,300	21,010	289	1.4	

25

3. 2015年3月期 連結業績予想(4)

■ 営業利益(セグメント別)

(単位: 百万円、%)

	2015年3月期 予想	2014年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
運輸業	15,400	17,308	△ 1,908	△ 11.0	鉄道事業の減
流通業	900	967	△ 67	△ 6.9	
不動産業	4,900	4,630	269	5.8	
レジャー・サービス業	200	135	64	47.7	
建設業	700	721	△ 21	△ 3.0	
その他の事業	200	284	△ 84	△ 29.6	
計	22,300	24,047	△ 1,747	△ 7.3	
消去又は全社	400	197	202	102.6	
連結	22,700	24,244	△ 1,544	△ 6.4	

26

3. 2015年3月期 連結業績予想(5)

■ 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位: 百万円、%)

	2015年3月期 予想	2014年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	11,700	13,465	△ 1,765	△ 13.1	減収の影響
バス事業	3,000	3,247	△ 247	△ 7.6	減収の影響、人件費の増
タクシー事業	700	595	104	17.6	
運輸業計	15,400	17,308	△ 1,908	△ 11.0	
ストア業	500	477	22	4.8	
百貨店業	100	104	△ 4	△ 4.5	
その他	300	385	△ 85	△ 22.2	
流通業計	900	967	△ 67	△ 6.9	
不動産販売業	800	493	306	62.2	増収の影響
不動産賃貸業	4,000	3,963	36	0.9	
不動産管理業	100	173	△ 73	△ 42.4	
不動産業計	4,900	4,630	269	5.8	

27

1	経営概況、当社の取り組み
2	2014年3月期 連結決算
3	2015年3月期 連結業績予想
4	連結業績の推移
5	参考資料

4. 連結業績の推移(1)

■ 業績の推移

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 業績予想
営業収益	237,887	230,282	244,059	244,995	247,900
運輸業	129,190	126,985	131,886	135,062	134,100
営業利益	20,411	19,922	22,984	24,244	22,700
運輸業	15,049	14,142	16,780	17,308	15,400
営業外収益	8,883	9,595	13,935	18,439	14,600
持分法投資利益	5,573	7,201	11,564	16,051	12,500
営業外費用	8,383	7,277	6,317	5,704	5,200
支払利息	7,179	6,577	5,806	5,151	4,800
経常利益	20,911	22,240	30,602	36,980	32,100
当期純利益	12,027	13,471	21,973	27,048	21,800

有利子負債残高等の推移

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 業績予想
借入金・社債等	396,285	384,345	369,342	345,688	330,400
リース債務	24,032	23,004	24,180	23,545	23,100
合計(有利子負債残高)	420,317	407,349	393,522	369,234	353,500
EBITDA倍率	9.9倍	9.7倍	8.8倍	8.0倍	7.8倍

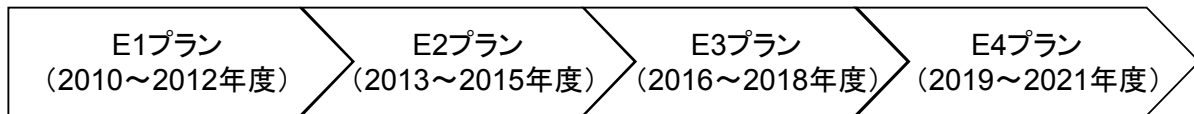
目次

- 1 経営概況、当社の取り組み
- 2 2014年3月期 連結決算
- 3 2015年3月期 連結業績予想
- 4 連結業績の推移
- 5 参考資料**

長期経営計画「Eプラン」の概要

名称・計画期間

長期経営計画「Evolution Plan」(=Eプラン)[2010年度～2021年度 12ヶ年]



長期経営ビジョン

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部(特に京成線・新京成線・北総線沿線)並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

長期数値目標

2021年度における連結決算数値

営業収益	2,800億円以上
営業利益率	10%以上
有利子負債残高	3,500億円以下
(EBITDA倍率※)	7倍以下

※EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

中期経営計画「E2プラン」の概要(1)

名称・計画期間

中期経営計画「E2プラン」(2013年度～2015年度 3ヶ年)



基本的な考え方

コア事業である運輸業を中心とした堅実な事業運営を推進するとともに、有利子負債の削減を進めることにより、引き続き安定した事業成長を目指す

安全・安心なサービスの提供

京成エリアにおける営業力強化

財務体質の更なる強化

基本方針

- ◎ 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上により、鉄道事業の競争力・収益力の強化を図る。
- ◎ コア事業(運輸業)を中心に引き続き堅実な事業運営を推進し、各事業分野において一定の事業成長を実現する。
- ◎ 将来に亘り安定的な事業成長を実現するため、賃貸資産の拡充を図るとともに、投資案件を選別し投資規模の適正化を推進する。
- ◎ 減価償却の範囲内での設備投資の実施を原則とすることで、フリーキャッシュフローを確保し、財務体質の強化を図る。
- ◎ グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る一方、M&Aや事業提携も視野に入れ、事業基盤の拡充を図る。
- ◎ 安全管理体制並びに、異常時・災害時におけるグループリスク管理体制の強化を図る。
- ◎ 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を強化する。

数値目標

	2013年度(実績)	2015年度(目標)
営業利益	242億円	230億円以上
(営業利益率)	(9.9%)	(9.5%以上)
経常利益	370億円	310億円以上
有利子負債残高	3,692億円	3,550億円以下
(EBITDA倍率)	(8.0倍)	(7.7倍以下)

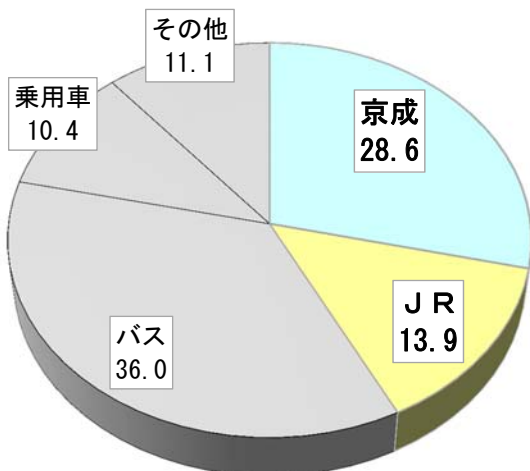
※1 EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

		2013年度 実績	2015年度 E2プラン	増減
運 輸 業	営業収益	1,351億円	1,339億円	12億円
	営業利益	173億円	159億円	14億円
流 通 業	営業収益	722億円	759億円	△37億円
	営業利益	10億円	12億円	△2億円
不 動 産 業	営業収益	210億円	182億円	28億円
	営業利益	46億円	52億円	△6億円
レジャー・サービス業	営業収益	103億円	113億円	△10億円
	営業利益	1億円	3億円	△2億円
建 設 業	営業収益	218億円	229億円	△11億円
	営業利益	7億円	7億円	0億円
その他の事業	営業収益	49億円	51億円	△2億円
	営業利益	3億円	2億円	1億円
合 計 (連結修正後)	営業収益	2,450億円	2,480億円	△31億円
	営業利益	242億円	230億円	12億円

34

成田空港アクセス(1)

成田空港への交通アクセスシェア



	2012 年度	2010 年度	増減
出発旅客数(人)	41,743	42,370	△627
鉄道利用者数(人)	17,755	16,468	1,287
鉄道の占める割合(%)	42.5	38.9	3.6
京成電鉄	28.6	24.2	4.4
スカイライナー	9.0	7.7	1.3
スカイライナー以外	19.6	16.5	3.1
JR東日本	13.9	14.7	△0.8
NEX	9.6	10.6	△1.0
NEX以外	4.3	4.1	0.2

調査日:

2012年3月9日(金)0時~24時(24時間)

2010年3月12日(金)0時~24時(24時間)

成田国際空港(株)が2012年7月23日にリリースした「成田国際空港交通アクセス実態調査」を元に作成

35

成田空港アクセス(2)

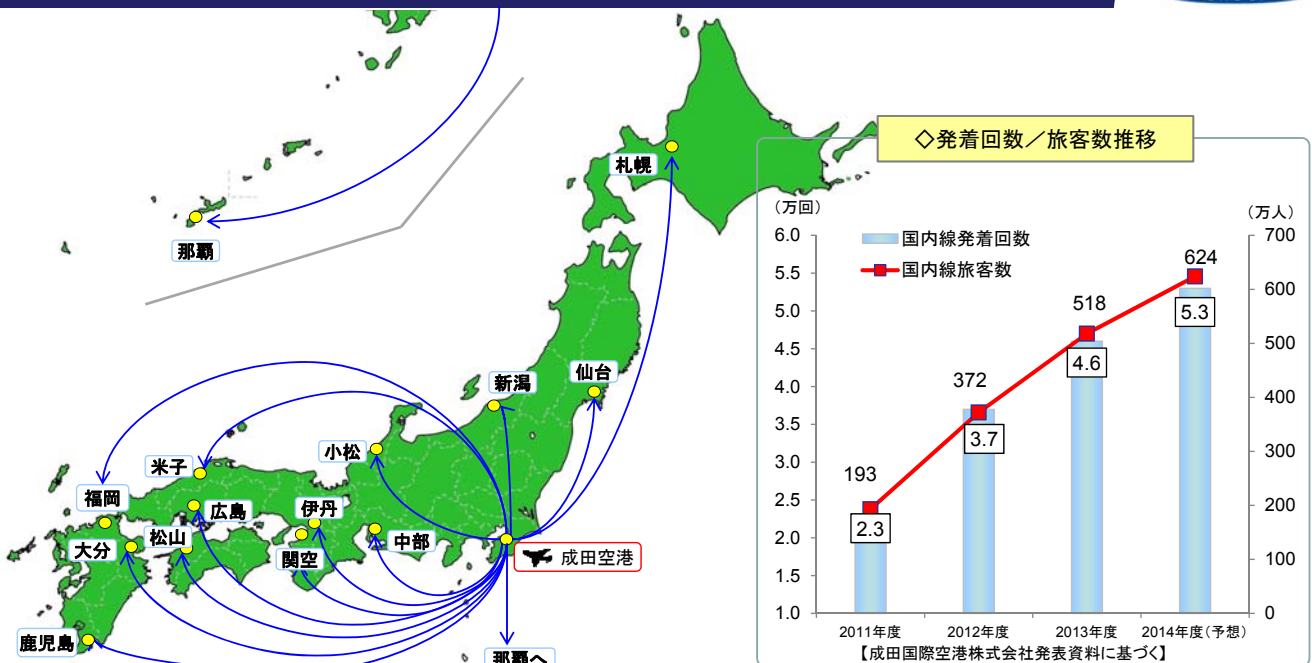
交通機関		経路	所要時分(注1)	運賃・料金(注2)
鉄道	 京成	日暮里 第2ビル 空港 (成田スカイアクセス)	スカイライナー 36分(38分) 一般車[アクセス特急] 50分(53分)	スカイライナー2,470円(2,465円) 一般車1,240円(1,235円)
		日暮里 第2ビル 空港 (本線)	一般車[快速特急] 67分(70分)	一般車1,030円(1,025円)
	J R	東京 第2ビル 空港 (総武・成田線・JRルート)	成田エクスプレス 50分(53分)	成田エクスプレス3,020円(3,017円) 一般車1,320円(1,317円)
バス	 京成バス	東京 第2ビル 空港	東京シャトル 60分(約70分)	900円(注3)
	リムジンバス	東京 第2ビル 空港	80分(約85分)	3,100円

注1: 所要時分は最速列車・バスの発駅から空港第2ビル駅まで、()内は成田空港駅までのデータ

注2: 運賃・料金における()内は、交通系ICカードを利用した場合

注3: 予約なしで、東京駅発の早朝深夜便に乗車する際の料金は1,500円

成田空港の国内線ネットワーク



	札幌	仙台	新潟	小松	名古屋		大阪		広島	松山	米子	福岡	大分	鹿児島	那覇	合計
					中部	伊丹	関空									
2014年5月時点	16便	2便	2便	2便	4便	4便	8便	2便	6便	4便	18便	4便	4便	4便	20便	96便
2011年3月時点	10便	4便	—	4便	12便	8便	2便	4便	—	—	10便	—	—	—	4便	58便

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/top.cgi>

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。

実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。